

## CMSC“平成元年”のスタート全国大会開催される。

ことしのCMSC全国大会は、2月25・26日の両日、静岡県御殿場市にある御殿場ステーションホテルで行われた。昨年の総決算と、ことしの活動のスタートを兼ねた大事な行事だけに、全国13支部の代表および'88チャレンジカップ上位入賞者、合計70名が参加した。

まず、外川一雄・CMSC会長からあいさつがあり、昨年の活発な支部活動と会員の努力に対してねぎらいの言葉が述べられ、続いてラリーアート・有賀寿秋社長から三菱側からCMSCにお礼の言葉が送られた。その後、各支部代表による'88年度活動実績報告および'89年度計画発表、チャレンジカップ表彰などが行われた。

とくに、支部ごとの活動計画案は地域ごとの特徴が表れており、前向きな姿勢が伝わってくる。良きコミュニケーション、心と心のつながり、そして技術的なレベルアップ。積極的なモータースポーツ参加計画も目立ち、メンバーの意気込みが感じられる計画案が示された。ことしの活動が、早くも楽しみだ。

翌26日は、富士スピードウェイのBパドックにコースを作って、ジムカーナ形式の試乗会。ジムカーナ仕様のミラージュとランサーで、全員がタイムを競い合った。優勝のかからないエキジビションとはいうものの、すっかり熱の入った試乗会となり、参加者は実戦ながらのステアリングさばき。ニューモデルのポテンシャルを存分に味わったようだ。冷たい風が吹くFISCOにも、一足早いシーズン到来といったムードが漂った。

### ラリーアート、今年のCMSC支援内容決定

ラリーアートによることしのCMSC支援活動が発表された。内容は、チャレンジカップ（クラブ、個人別対抗）の実施、三菱車用スポーツパーツ廉価分譲、全日本選手権出場援助、主催イベント援助など、昨年と同様。新型車へのラリーアート・カラーリング援助、好成績ドライバーへのウェア援助なども行われる。

### 支部主催イベントは全11戦 今年の活動計画決まる

CMSC主催イベントのスケジュールが決定。すでに行われた青森のウインターラリー、香川のトライアルをはじめ、ことしは11戦の開催が予定されている。また、各クラブではB級ライセンス講習会、ダート練習会などを積極的に計画している。CMSC会員の活躍が楽しみだ。



▲あいさつする外川会長



▲総会後の懇親会



▲次々とトライする参加メンバー



▲午後にはすっかり晴れたFISCO

月	日	主催	イベント名
1	14、15 21	青森 帯広	CMSCウインターラリーイン青森(JAF地方ラリー選手権B、C地区第1戦) 第7回CMSC帯広コルト氷上トライアル
2	19	香川	'89CMSCアストロトライアルI
4	16	山形	'89CMSC山形ダートトライアル(県シリーズ第1戦)
5	7	群馬	'89CMSCトライアル群馬(県シリーズ第4戦)
6	11		'89スリーダイヤモンドトライアル(県シリーズ)
8	19、20 20 未定	香川 帯広 島根	'89CMSCダイヤスターラリー CMSC帯広コルトダートトライアル(北海道ジュニアチャンピオンシリーズ) '89CMSC島根ダートトライアル(日本海チャンピオンシリーズ第8戦)
10	8 20	香川 帯広	'89CMSCアストロトライアルII CMSC帯広ダートトライアル

# '88CMSCチャレンジカップ、栄冠は再び山形に。

'88年度のCMSCチャレンジカップ・クラブ別ポイント、山形が2位以下に大差をつけて連続優勝を達成した。また、ラリー・ドライバー部門は館山正嗣(青森)、ラリー・ナビゲーター部門は佐藤忠宜(福島)、スラローム部門は荒井信之(群馬)、レース部門は小川日出生(山形)がそれぞれ優勝した。昨年も12月は各クラブとも得点がなく、序盤戦から高得点をマークした山形が有利な展開で栄冠を手にした。一方、クラブ別では2位の群馬、3位の福島、そして4位の帯広、5位の青森が大接戦だった。ことしは岐阜、香川なども上位入賞をねらう構えを見せており、クラブメンバーのイベント参加も増えそう。



▲小川会長からカップを受け取るCMSC山形の小川さん。

## ●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	71	212	160	0	443
札幌	129	254	10	0	393
青森	104	250	82	0	436
山形	267	482	233	0	982
仙台	20	80	30	0	130
福島	181	223	103	0	507
栃木	54	43	106	0	203
群馬	196	153	236	0	585
埼玉	11	26	67	0	99
岐阜	26	22	16	0	64
島根	77	108	140	0	325
香川	96	96	40	0	136

## ●ラリー・ドライバー部門



館山 正嗣	青森	139
塩野谷浩光	群馬	124
吉川 幸彦	札幌	116
千田 俊二	札幌	104
大西 康弘	青森	92
奥山 高志	仙台	88
長沢 太郎	埼玉	77
富士 文秀	青森	54
菅野 茂	福島	40
金田一直志	青森	36

## ●ラリー・ナビゲーター部門



佐藤 忠宜	福島	186
永沢 裕之	青森	113
葛西 一省	青森	60
内田 昭雄	群馬	46
若林 和昭	群馬	24
益子 友幸	栃木	23
巻口 実	札幌	20
青木 功	栃木	19
三田 行男	埼玉	16
本田 弘	岐阜	12
本田 辰彦	岐阜	12

## ●スラローム部門



荒井 信之	群馬	329
青沼 達也	帯広	246
砂塚 明男	山形	218
杉山 敏夫	山形	187
金田 至	山形	180
鈴木 功敏	福島	150
佐藤 信一	福島	144
杉坂 啓一	島根	134
白井 修	香川	114
小肩 秀紀	札幌	104

## ●レース部門



小川日出生	山形	148
清水 潤	埼玉	16
並木 松雄	栃木	15
稲見 孝雄	栃木	15
相沢 いく	埼玉	12
川口 法行	栃木	8
今野 広志	仙台	8
新井 一男	群馬	4
佐藤 政一	仙台	4

## ●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

←リタイアには予選通過も含む

A = ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ  
スラローム………全日本スピード行事選手権、地区スピード行事選手権、JMSシリーズ  
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラーズカップ  
B = それ以外の競技会

# 盛況のウィンターラリー、CMSCメンバーも大健闘

## ウィンターラリーin青森 '88JAF地方選手権BC地区第1戦 CMSCウィンターラリーin青森

'89JAF地方選手権B・C地区第1戦、CMSCウィンターラリーIN青森が、東北ラリー・シリーズのトップを切って1月14~15日に開催された。コースは岩木山周辺の200kmで、59台が出走した。ことしからJAF地方ラリー選手権はB・C地区合同で開催されることになり、B地区から38台、C地区から22台のエントリーがあった。三菱車はBクラス15台中6台、Cクラス26台中17台。とくにギャランは12台という盛況ぶり。ミラーズも含めて上位入賞に期待がかった。

CMSCからはベテラン菅野茂選手(福島)をはじめ大西晃選手(青森)などがギャランVR-4で、梶沢宏之選手(青森)がコルディア、佐藤政一選手(仙台)、波辺俊昭選手(山形)がミラーズで、それぞれエントリーした。

序盤からCクラスはギャラン対ギャランの戦いとなった。第1ステージのSSでは菅野ギャランがまずまずの走りを見せ、梶沢コルディアも劣らぬ走りですぐこれを追う。第2ステージに入ってやや遅れが出たものの、Cクラス5位を確保した。



▲総合5位に入った菅野茂選手(CMSC福島)のギャランVR-4



▲梶沢選手のコルディア



▲左から3人目が菅野選手。4人目が梶沢選手

# 105台がエントリー、ギャランの真価を発揮

## 氷上トライアル '89道東氷上シリーズ第1戦 第7回CMSC帯広コルト氷上トライアル

7回目を迎える氷上トライアル大会は、道東氷上シリーズの第1戦。今年も105台という多数の参加を集め、冷え込みが厳しいながらも快晴に恵まれた中、盛大に行われた。注目の4WDクラスは'88北海道ラリーチャンプの鈴木昭江ギャランが豪快な走りを披露、1トライめにベストタイムをたたき出した。2トライめは4輪ドリフトのままコースオフしたものの、2位以下に1秒以上の差をつけて優勝した。三菱賞の2位にはクラス5位を得た十川ランサーが、コンマ差でクラス6位の井馬ギャランが3位に入った。

CMSC帯広主催のこのイベント。最近のトライアル熱も手伝って、出場メンバーの実力も年々上がっている。トライアルをメジャーなスポーツにするのがCMSC帯広としての目標でもあり、その意味でも次回はもっと盛り上がりのある大会にしたい。(CMSC帯広 青沼達也)



◀4WDクラス1位、三菱賞1位の鈴木昭江ギャラン



▲4WDクラブクラス6位、三菱賞3位の井馬隆光ギャラン  
4WDクラス5位、三菱賞2位の十川和彦ランサー▶



## CMSC岐阜、なごやかに温泉で総会

CMSC岐阜の'89年度総会は、2月11~12日に奥下呂温泉で開催された。当日は好天に恵まれ4月上旬並みの陽気、参加23名に委任状を加えて総会も成立した。外川CMSC会長が遠路はるばる駆け付け、激励のあいさつに一同感激のひとコマも……。'88年度の活動報告、会計報告などは全員の拍手で承認された。'88年度CMSC岐阜クラブ・コンテスト上位入賞者の表彰に当たっては、岐阜三菱自動車販売ならびにラリーアートからも多くの賞品が協賛された。役員改選では浅野会長以下全員が再任。また、今年の活動計画については、年2回のダートラ練習会を行うことが決定した。夜の懇親会もなごやかそのものというCMSC岐阜の総会だった。



▲遠路はるばる駆けつけたCMSC外川会長

◀ハイ、パチリ。総会の締めくくりは記念撮影で。

## ここでもギャラン施風！総合1~3位を独占

### '89CMSCアストロアイアル1 CMSC香川

'89 J MRC 四国チャンピオンシリーズ第1戦として、2月19日に香川スポーツランドでCMSCアストロアイアル1が行われた。A-IIクラスにミラージュが2台、ランサーが2台、C-IIIクラスにランサーが1台と、三菱車も多彩。総エントリーは68台だった。

前日までの雨のため、第1ヒートはかなりウェットだったが、第2ヒートでは路面状態も良くなり、熱戦が展開された。一昨年のギャラン発売以来、ギャラン旋風が吹き荒れているA-IIIクラスでは、昨年シリーズ1位の田中和男選手が総合でも5位にはいるタイムで優勝したほか、1、2、3位をギャランが独占、6位にはミラージュ4WDが入った。(CMSC香川 白井修)



▲A-IIIクラス優勝は田中和男選手  
▼井上勇三選手のミラージュはA-IIクラス6位  
◀近藤健司選手のサイボーグ

## CMSC帯広

「トライアルをメジャーなモータースポーツにしたい」——これがウチの大きな目標です。大上段に構えていると思われる方もいらっしゃるでしょうが、「大きな目標も小さは努力から」でありまして、まずは30数名のメンバーが力を合わせてトライアルに打ち込もうということなのです。4月は雪解けのシーズン、そろそろ練習も本格的になります。別に改まった練習会は企画していませんが、メンバーが2人、3人と集まって「それでは練習を……」みたいな感じですね。8月と10月にはCMSC帯広主催のダートラがあります。

## CMSC札幌

春のおそい北海道ですが、ことしは雪も少なく、5月に入ればダートの練習ができます。CMSC札幌としては7月に林道を借り切った練習ラリーを行う予定です。総会のときは親睦会（花見と忘年会）の予定しかお話しませんでした。実戦への積極的な参加を目標にしているため、まずはウデを磨こうというわけです。ギャランV R-4の登場がきっかけでモータースポーツへ復帰したメンバーもいますし、クラブ内も盛り上がりつつあります。ことしは話題の多い年になりそうです。

## CMSC青森

支部の目標は「全員参加」です。選手としてはもちろん、オフィシャルでもいい。とにかく、自分でできるモータースポーツをやろう、ということです。何もしないで1年を過ごすのは、もったいないですからね。主催イベントは1月のCMSCウインターラリーイン青森。もう、終わってしまいましたが、今年も全国で最も早いモータースポーツ・イベントとなりました。参加者の方からも好評をいただき、まずはホッと一息です。4月30日にはジムカーナ練習会を行う予定。岩手メンバーのラリー参加もこすは活発になりそうです。

## CMSC仙台

主催イベントを開けるように体制を強化するのが目標です。そして、メンバーの輪を広げ、地域に密着したCMSC仙台にしたいですね。少しずつ会員も増えているし、自主イベントをぜひ！

8月ごろにダートラを開催できるよう、JAFに申請中です。ミラージュカップ東北へはドライバー2名を参加差せます。また、6月にはダートラ練習会、10月はジムカーナ練習会と、皆んなで楽しめる会合を計画しました。ことしのCMSC仙台は、ちょっと面白い！

## CMSC福島

5月以降の活動計画は、まだ最終的に決定していませんが、B地区選手権のダートトライアル、ジムカーナの共同主催を検討中です。支部としては、実現させる方向でガンバっています。それと、毎週、毎月のミーティング、練習会へは、各メンバーが積極的に参加するよう心がけています。

会員の活動としては、地区シリーズ戦への参加、なかには全日本戦を目標にしているメンバーもいて、いろいろと話題は多いです。

# CMSC各支部

## CMSC岩手

総会のときは、なにもお話しできなかったのですが、7月16日に岩手県シリーズのダートトライアルを主催することが決定しました。岩手支部は、岩手三菱が中心となって活動していますので、こちらの方ではB級ライセンス講習会なども行います。ジムカーナ・ファンは多いので、積極的に場所を見つけて主催したいですね。平均年齢が高い？支部なので、実戦にシリーズまるごと参加するメンバーは少ないけれど、会員45名、皆んな元気一杯です。女性会員も頑張っています！



# ことしの抱負、目標

## CMSC山形

ラリー、ダートラ、レース、皆んなの力でもあげる——これがCMSC山形の抱負です。砂塚選手と杉山選手がダートトライアルのツアー戦に全戦参加、今野選手は全日本ラリーにBクラスで全戦エントリー、ミラージュカップ東北シリーズには5台を送り込む——などなど、メンバー個人の活動が活発な今シーズンです。4月と7月にはCMSC山形主催のダートラを開催（このCMSCジャーナルが出る頃には、4月の大会も無事終了していることでしょう）し、クラブの結束を高めます。

P.S. 今回のCMSCウインターラリーin青森に参加しなかった小川日出生選手。「走れるうちは走りますよ。でも、後輩を育てるのも大事ですからね」とお元気そうでした。（編集部注）

## CMSC群馬

5月7日に「89CMSCトライアル・イン群馬」を主催します。これは群馬ダートラシリーズの第4戦です。わが支部でもダートラ人気は高く、今年の大会は三菱車のエントリーが増えそう。ぜひとも成功させるよう、現在奮闘中です。これ以外では、毎月第3金曜日のミーティング、ダートラ練習会などが予定されています。とにかく、ラリーでもダートラでも、各自がそれぞれのシリーズで全力を出す。できればシリーズ入賞する——これが目標です。いまのところ会員25人。今年は少し増えそうです。

## CMSC栃木

レースの話題が多い年です。ミラージュカップ東北シリーズへは2台がエントリーしますし、プロダクション・レースをやりたいというメンバーも増えています。CMSC栃木としては、ラリーよりレースといった感じです。主催イベントは6月のスリーダイヤモンドトライアル、9月のジムカーナ（いずれも日光スピードパーク）があり、もちろん練習会も企画しています。

また、クラブ規則について、入会資格を「会員の推薦が必要」ということに改めました。きっと、クラブのレベルアップに役立つと思っています。悩み？といえば、メンバーの平均年齢がなかなか下がらない事ですかね……。

## CMSC埼玉

独自でイベントができるクラブを目指します。いまのところは練習会が主体ですが、メンバーのモータースポーツ活動は活発です。今年、ほぼ全員が何らかのイベントに出場します。CMSC埼玉としてもミラージュカップに全戦エントリーの予定。走行会は、3回ぐらいできそうです。

現在、会員は49人。販売会社以外に、ユーザーにも輪を広げていきたいと思っています。とにかく、公認イベントを主催できるクラブに！

## CMSC岐阜

まずはCMSCチャレンジカップのポイントをかせぎたいですね。支部としてはラリーへのエントリーを増やしたい。ちいさな練習ラリーでも、地区ラリーでもいい。ドライバーとナビの育成に力をいれます。イベントとしては6月にダートラを主催するほか、7月にJAFへの協力という形でラリーを、そのほか練習会を予定しています。場所さえあればジムカーナもやりたいです。

それと、大きな目標はラリーの主催。2年後を目標に、資格の取得を！（事務局の浅野さんは、2年間の休場を埋めるため、ことしは中部戦シリーズにエントリーだそうです。編集部注）

## CMSC島根

ダートもコンクリートもガンバル！新メンバーもドンドン増やす！

ジムカーナ主催は6月25日に決定しました。日本海チャンピオンシリーズの第2戦です。ダートラ主催は8月、12月10日にはCMSCダートラ・ジュニアオールスターを開催します。若手メンバーがそれぞれ練習に気合いをいれているので、夏に合宿でも開きたい。ジムカーナとトライアルの練習会は4～10月に毎月やります。昨年はダートラばかりだったので、ことしはコンクリートも頑張りたい。

## CMSC香川

クラブの目標は積極的なイベント参加。そして、チャレンジカップで上位入賞（せめて6位）すること。とくにスラローム競技には全力を入れます。ラリーについては10人ほどのメンバーが四国以外のシリーズ戦に出場する予定です。

イベントでは、5年ぶりにラリーを主催します。クラブのメンバーにラリーを教える意味でも、ぜひ、成功させたい。ダートラはアストロトライアルを2回（1回目は2月に実施）、毎月1回の練習会でウデを磨くといったところです。